5月1日は「さいたま市民の日」

さいたま市を読む



都市の利便性と豊かな自然が調和するまち・さいたま市。 歴史や見どころをたっぷりご紹介します。

5月1日は「さいたま市民の日」

市民のみなさんが、郷土であるさいたま市の歴史や文化に 親しみ、市民としての一体感とまちづくりに自ら参画する 意識を高め、魅力ある本市を将来にわたって創っていくこ とを期する日として制定されました。



『さいたま市史』

さいたま市 2017年~

2025 年 4 月現在、「鉄道編」「自然編[1]気象・地形・地質」「自然編[2]植物」「自然編[3]昆虫類」「民俗編1 社寺の信仰」「通史編[1]原始・古代 1」が刊行されています。

『さいたま市の歴史と文化を知る本』

青木義脩/著 さきたま出版会 2014年

『地図で見るさいたま市の変遷

明治・大正・昭和・平成の4代120余年の歴史が読める』 日本地図センター 2003年

『新しいさいたま市の歴史 複製版』

青木 義脩/著 大宮郷土史研究会/編 さいたま市立中央図書館 2008年



『さいたま市の 100 年 写真が語る』

いき出版 2021年

『さいたま市地名の由来 地名からわかること』

青木義脩/著 幹書房 2013年

普段何気なく目にしているさいたま市の地名。なぜこの漢字? なぜこの読み方? 地名に隠された謎から、さいたま市の歴史 が見えてくる。

『さいたま市の昭和 写真アルバム』

いき出版 2013年

個人所蔵の写真から選りすぐりの600枚を厳選し、地元専門 家の解説を加えた大判写真集。懐かしきあの頃の思い出が今、 よみがえる。





『**てっぱくにいこう! 鉄道博物館完全ガイド**』 小学館クリエイティブ 2019 年

『サッカーのまち さいたま

我々のまちにはサッカーの歴史があります』

八木理英/絵 一般社団法人 J リーグの理念を実現する 市民の会 2020 年



『さいたま市岩槻人形博物館

コレクション名品選』

さいたま市岩槻人形博物館/編集 さいたま市岩槻人形博物館 2020年

『大宮盆栽村クロニクル』

宮田一也/著 アーカイブス出版 2008年



さいたま市ゆかりの文学者たち

令和7年3月、さいたま市図書館ホームページに、 「さいたま市ゆかりの文学者たち」のページを公開しました!

さいたま市出身や在住の文学者の紹介、さいたま市を舞台にした文学作品の紹介を行っています。

ぜひご覧ください。

こちらの QR コードからどうぞ!





舞台はさいたま市

身近なあの場所が舞台となっている小説です。

『誘拐ラプソディー』

荻原浩/著 双葉社(双葉文庫) 2004年 借金を抱え自暴自棄になった秀吉は、偶然出会った子どもを誘拐し、人生最大の賭けに挑む。埼玉県内を縦横無尽に駆け巡る 秀吉だが、実はその子どもの父親は…。たっぷり笑ってほろり と泣ける、ユーモア誘拐小説。

『ランドマーク』

吉田修一/著 講談社 2004年 大宮に建設中のスパイラルビル。ねじれ構造を持つ35階の超高層ビルが、設計士と鉄筋工、二人の男のゆがんだ人生模様を映し出す。

『レガッタ!』1~3巻

演野京子/[著] 講談社 2012年~2013年 県立浦和第一女子高校ボート部をモデルに描かれた熱きスポーツ小説。

『ああ玉杯に花うけて』

佐藤紅緑/[著] 講談社(講談社文芸文庫) 2014年 旧制浦和中学を舞台に、友情や貧困、師弟愛などを描いた青春 文学の金字塔。

このリストに掲載している本は、さいたま市図書館で 所蔵しています。貸出や予約(順番待ち)ができます。

> さいたま市図書館ホームページ https://www.lib.city.saitama.jp/ さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500